



中体連空知大会 3位 妹背牛中・男子バスケット部



妹背牛中学校の男子バスケットボール部は1、3年生の11人と、沼田中学校1年生2人の計13人が所属する合同チーム(以下、妹背牛)です。中学3年間ともに汗を流した3年生が主体のチームで、息の合ったパス回しと走り込んで点を稼ぐ攻撃スタイルが持ち味。トーナメント戦の北空知大会で「歌志内」と「砂川・新十津川」に勝利し、2位で予選を通過した「妹背牛」は7月8、9の両日、美唄市総合体育館で開かれた「北海道中学校体育大会 空知バスケットボール競技大会」に出場しました。

初戦の「岩見沢緑」を60-52で下し、接戦をものにする、翌日の準決勝で南空知の強豪「岩見沢東光」と対決。鋭いドリブルや的確なシュートで序盤はリードを保ちましたが、スタメンの平均身長が174センチある相手チームの高さの壁にぶつかり、妹背牛は準決勝で敗れました。

キャプテンでポイントガードの岡部光惺選手は「相手にプレッシャーをかけてチャンスを狙ったけれど、体力面に課題がありました」と試合を振り返り、ヘッドコーチの小川有至教諭は「最後まで諦めず、積極的にゴールを狙っていました」と選手たちをたたえました。



素早いドリブルで相手のディフェンスを翻弄



フェイントを交えたランニングシュートで得点



試合終了の合図まで果敢に相手ゴールへ